

「高齢者ホワイトカラーのコンピューター

訓練特性に関する調査作業部会」委員

- | | |
|------|----------------------|
| 小池克宏 | (株式会社 野村総合研究所) |
| 能美英夫 | (関西職業能力開発促進センター) |
| 磯村恒 | (職業能力開発大学校) |
| 舘暁夫 | (職業能力開発大学校) |
| 山川明子 | (職業能力開発大学校 研修研究センター) |
| 香川繁 | (職業能力開発大学校 研修研究センター) |

序 文

今日の日本において、情報処理技術者を中心とした技術革新は産業のあらゆる分野に及んでおり、生産現場のみならず事務、販売、管理等の職場も、コンピュータやコンピュータを応用した機器の導入等によるOA化が急速に進んでいる。

今後、いわゆるホワイトカラー労働者も、コンピュータに関する基礎的な知識及び利用技能なしには、その職業能力や職業経験を十分に発揮することが困難な時代になりつつある。労働力不足基調時代の到来を前に、貴重な経験技能を持つ高齢労働者を引き続き雇用し、その豊富な知識とノウハウを活用していくことは国及び企業にとって重要な課題である。

しかし、高齢者の場合、一般的に新しい技術への適応力が弱く、とりわけコンピュータ関連の知識・技能の習得は容易でないことが多いので、近年の職務変化に取り残されがちである。ホワイトカラー労働者の場合も例外ではなく、高齢化に伴って就業可能な職域が次第に狭められる傾向が強まっている。

このような状況の中で、高齢ホワイトカラー労働者の職務適応及び職域拡大を図る対策の1つとして、コンピュータ・アレルギー等、高齢者に特有な訓練特性に配慮した、コンピュータ利用技能の付与のための効果的な訓練システムについて平成5年度から5年度計画により開発研究を行うこととした。平成5年度においては、高齢ホワイトカラーの訓練特性を把握し、その特性をもとに高齢者のコンピュータ訓練に入力装置、訓練支援ソフト及びCAIを開発することを目的として、①調査部会②入力装置開発部会③訓練支援ソフト開発部会④CAI開発部会の4つの作業部会を設置して、それぞれの分担のもとに訓練システムの開発を進めてきた。本報告は調査部会で実施した高齢ホワイトカラーのコンピュータ訓練特性に関する調査結果をまとめたものである。ちなみに、高齢者特性に関する研究は数多いが、高齢ホワイトカラーに的を絞った研究は極めて稀である。本調査の成果が関係者に大いに活用されることを期待している。

本報告にあたり、調査にご協力いただいた職業能力開発促進センター、雇用促進センター及び関係各位のご指導に深く感謝する次第である。

1994年3月

職業能力開発大学校
研修研究センター
所長 城 哲 也

調査研究報告書No. 75

高齢者ホワイトカラーの

コンピュータ訓練特性に関する調査

発行	1994年3月
編集・発行人	職業能力開発大学校研修研究センター
	所長 城 哲也
	〒229 相模原市橋本台4-1-1
	TEL 0427-63-9047 (広報普及室)

印刷	株式会社 相模プリント
	〒229 相模原市東橋本1-14-17
	TEL 0427-72-1275
